

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ES12B008	学校マネジメント研究(Practical Research on School Management)					学校経営コース科目						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1～2	大学院教育学研究科	通年		氏名 山崎清男、福本昌之、山本遼、大島崇、有定裕雅、小池一彦 E-mail 内線						
授業の概要	自らが学校実地研究等を通して得た経験などを理論的に省察し、自らで設定した研究テーマの追究・検証を行う力を養う。											
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)						
目標1	各自の研究テーマの追究・検証を行うことができる。					1						
目標2	学校実地研究、教育体験等の省察を行うことができる。					2						
目標3						3						
目標4						4						
目標5						5						
目標6						6						
目標7						7						
目標8						8						
目標9						9						
目標10						10						
授業の内容												
1	研究テーマの設定											
2	研究テーマの相互検討											
3	研究テーマの確定											
4	研究計画の設定											
5	研究計画の相互検討											
6	研究計画の確定											
7	実地研究に向けた課題の設定											
8	実地研究に向けた課題の相互検討											
9	実地研究に向けた課題の確定											
10	実地研究の途中経過報告											
11	実地研究における課題の相互検討											
12	実地研究における課題解決の方策確定											
13	実地研究を踏まえた研究成果の報告											
14	実地研究を踏まえた研究成果の相互検討											
15	実地研究を踏まえた研究成果の総括とさらなる課題の設定											
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	他の科目で学修した知識を活用し実践上の課題を解決する方策を探る。また、実践について協働的に検討し省察することを通して既存の理論と関連づけたり新たな理論の創出を図る。			工夫	その他の						
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	各回のテーマに関わる既習事項等の整理、予習課題の学修										
	事後学修	演習等における学習内容・討議内容を整理										
教科書	特になし。											
参考書	特になし。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%										
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%										
注意事項	本授業においては、擬似的に教員集団を組織するという側面もあるので、院生同士の双方向のコミュニケーションに努めること。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。											
備考												
リンク	URL											

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	有定裕雅：大分県立高等学校教員・校長、大分県教育委員会職員 小池一彦：大分県公立中学校教員・副校長、大分県教育委員会職員